(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-232559

(43)公開日 平成8年(1996)9月10日

DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI

(c)1996 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

010965165 WPI Acc No: 96-462114/46

XRPX Acc No: N96-389378 \*Image available\*

Elevating device for venetian blind - has deceleration mechanism which decelerates rotating shaft when bottom rail is rolled up by withdrawal cord and when blind descends through brake spring

Patent Assignee: (TOYJ ) TOSO KK

Number of Patents: 001 Number of Countries: 001

Patent Family:

CC Number Kind Date Week

JP 8232559 A 960910 9646 (Basic)

Priority Data (CC No Date): JP 9535543 (950223)

Abstract (Basic): JP 08232559 A

The device has a rotating shaft (5) supported in a longitudinal direction with a box (1). Several elevation cords (10,11) are wrap to several winding drums (8,9) installed on a winding drum bearing (7). A withdrawal cord (14) is wrap around a withdrawal cord winding drum (12) which suspends at the edge of the box.

A brake spring (15) resist tensile force of the withdrawal cord by tare weight when a bottom rail and several slat is rolled up. A deceleration mechanism (17) reduces rotation of rotating shaft when blind descends through the spring and when the bottom rail is rolled up.

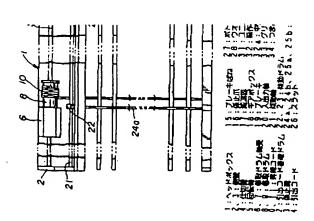
ADVANTAGE - Improves operativeness and safety when blind descends as sudden fall when elevator descends caused by tare wt. is prevented with installation of deceleration mechanism.

Dwg. 1/6

Derwent Class: Q48;

Int Pat Class: E06B-009/308

を減速するようにした減速器17とを備える。好ましくは、引出コード14を貫通させ制動することができるスラット26の傾動操作棒32をヘッドボックス1からつり下げる。



# (19)日本回特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

# (11)特許出顧公開番号 特開平8-232559

(43)公開日 平成8年(1996)9月10日

(51) Int.Cl.4

識別記号 庁内整理番号 FΙ

技術表示箇所

E 0 6 B 9/308

E06B 9/308

## 審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 5 頁)

(21)出廣番号

(22)出窗日

特顏平7-35543

(71)出廣人 000109923

トーソー株式会社

平成7年(1995)2月23日

東京都中央区新川1丁目4番9号

(72) 発明者 椎名 宜博

東京都中央区新川1丁目4番9号 トーソ

一株式会社内

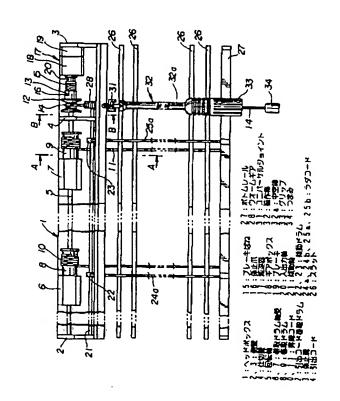
(74)代理人 弁理士 川上 肇

## (54) 【発明の名称】 ペネシャンプラインドの昇降装置

## (57)【要約】

【目的】 ブラインド下降時の操作性と安全性を向上さ せる。

【構成】 ヘッドボックス1に回転軸5と昇降コード1 0、11を巻き付ける第1の巻取ドラム8、9とを備 え、回転軸5と連動回転する第2の巻取ドラム12と、 第2の巻取ドラム12に巻き付けられる引出コード14 と、引出コードを制動する制動手段32と、ブレーキば ね15を介してブラインド下降時のみに回転軸5の回転 を減速するようにした減速器 17とを備える。好ましく は、引出コード14を貫通させ制動することができるス ラット26の傾動操作棒32をヘッドボックス1からつ り下げる。



再び挟持制動され、巻取ドラム8、9の回転は停止す る。これにより、ボトムレール27は下降した高さに保 持される。このとき、ブレーキばね15は入出力軸20 に巻き付いて、巻取ドラム8、9の回転を回転軸5及び 引出コード巻取ドラム12を介して減速器17に伝達す る一方、減速器17ではギアボックス18が回転数を変 化させブレーキ19が回転を制動するので、巻取ドラム ~8、9の回転は緩やかになる。即ち、減速器17によ り、ブラインドの自重による急速下降を規制して事故を 未然に防止する。

【0014】一方、操作棒32のグリップ33を回転す るとウォームギア28を介して傾動軸21が回転し、傾 動ドラム22、23の角度が変化してスラット26の傾 斜角度を変化させる。なお、本実施例では、引出コード 巻取ドラム12を回転軸5と一体回転するコード巻取ド ラムにより構成したが、これに代えて上述の昇降コード 10、11の巻取ドラム8、9と同様に、引出コード1 4の巻きピッチと同幅だけ回転軸5上を移動しながら引 出コード14を巻き上げ又は巻き下げることができる巻 取ドラムを用いて構成してもよい。

【0015】このように、ブラインドを下降させるとき ボトムレール及びスラットの自重を利用して昇降コード を巻き下げるので、ブラインドの操作性を著しく向上さ せることができる。また、減速器によりブラインドの急 速下降とそれに伴う事故を未然に防止する.一方、引出 コードは1本なので見栄えもよく、さらに引出コードを 操作棒の中に通すようにしたので外観上も著しく優れた ものにすることができる。

### [0016]

ネシャンプラインドの昇降装置において、昇降コードを 巻き付ける第1の巻取ドラムと回転軸を介装して連動回 転する第2の巻取ドラムと、一端が第2の巻取ドラムに 巻き付けられる一方ヘッドボックスを貫通して他端がヘ ッドボックス外に垂下する引出コードと、ヘッドボック スに付設されてボトムレール及びスラットの自重により

生ずる引出コードの張力に抗して引出コードを制動する 制動手段と、ブラインド下降速度の減速手段とを備えた ので、ブラインドを下降させるときボトムレール及びス ラットの自重を利用しかつ自重による急落を防止して昇 降コードを巻き下げることによりブラインドの操作性と 安全性を著しく向上させることができると共に、引出コ ードは1本なので見栄えも優れたものにすることができ るという効果を奏する.

#### 【図面の簡単な説明】

10 本発明に係るベネシャンブラインド昇降装 【図1】 置の具体的構成を示す正面図である。

【図2】 図1の切断線A-Aにおける断面側面図で ある。

【図3】 図1の切断線B-Bにおける断面側面図で ある.

図1のグリップ33の内部構成を示す正面 【図4】 断面図である。

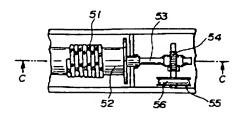
【図5】 従来のベネシャンブラインド昇降装置の構 成を示す平面図である.

【図6】 図5の昇降装置の部分構成を示す正面図で 20 ある.

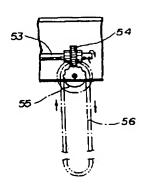
### 【符号の説明】

ヘッドボックス、2.3 側壁、4 仕切壁、5 回転 軸、6,7 巻取ドラム軸受、8,9 巻取ドラム、1 0,11 昇降コード、12 引出コード巻取ドラム、 13 係止溝、14 引出コード、15 ブレーキば ね、16 係止爪、17 減速器、18 ギアボック ス、19 ブレーキ、20 入出力軸、21 傾動軸、 22, 23 傾動ドラム、24a, 24b, 25a, 2 【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明のベ 30 56 ラダコード、26 スラット、27 ボトムレー ル、28 ウォームギア、29 ウォーム、30 ウォ ームホイル、31 ユニバーサルジョイント、32 操 作棒、32a 中空棒、33 グリップ、34 つま み、35円筒体、36 栓体、37 コイルばね、37 a ガイド溝、38 ガイドローラ、39 プラケット

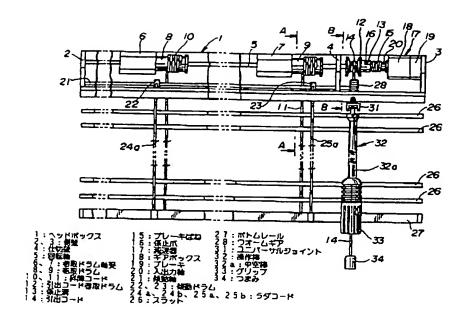
【図5】



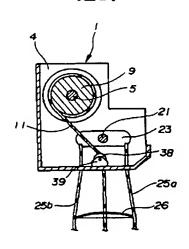
【図6】



【図1】



【図2】



38:ガイドローラ 39:プラケット

【図3】

